



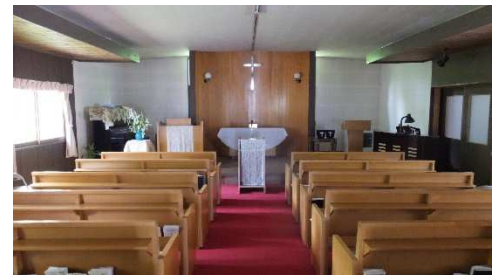
隠退して八ヶ岳の裾野の北杜市に住み、大好きな甲斐駒ヶ岳を眺めつつ、暮らしておられる夫の神学校の同級生寺島牧師は自称「山爺」。信州生まれの山爺は、甲府教会の牧師もされましたので、甲州、信州の大自然を自分の庭のように愛し、動き回り、よくご存じなのです。今も、長靴を履いて野山を歩いておられる山爺から、もし「あちこち、行ってみるら？」と言われたら、「行くぞら！」とすぐ、飛びつきたくくなります。

そういうわけで、「秘湯」への旅のお誘いがあり、夫の治癒に感謝し、私の誕生日の思い出に、富士見、蓼科、諏訪方面に一泊旅行に出かけました。



まず、寺島牧師が最後に牧会され、現在、夫人が役員をしておられる富士見町にある「富士見高原教会」を案内していただきました。数千坪以上もあると思える広大な敷地に、山小屋風の会堂が建っています。隣に新築の立派な牧師館がありました。会堂横の枝垂桜の下にテラスがしつらえてありました。その先に運動会でも、キャンプでも、できるほどの草はらが広がり、林の向こうに古民家風の広い平屋の旧牧師館が、今は使われていないまま、建っています。敷地全体は木立に囲まれて、静かでした。山爺はさっそく露を摘んでくれました。

先週の週報によれば、礼拝者は 30 数名でした。集会の一つに「ガーデニング」があるというのは個性的です。今年度、新たに赴任された牧師は教区総会のため、お留守でしたが、夫人と親しくお話しできました。夫人はスクールカウンセラーとして働いておられ、お子さんが 4 人おられるとのこと。現在は、彼女のお仕事は需要があるでしょう。お元気に活躍していただきたいと思いました。



山爺夫人の天女様は震災・原発事故の被災者の方々のために、北杜市の大自然のなかで「よっちゃばれ(山梨県の方言「寄って来て」の意味)キャンプ」を企画し、4 年前から実行委員として活躍されています。今年は 8 月にキープ協会の清里キャンプ場で開催される予定です。教会の牧師を始め、多くの方々が関わっておられます。天女様は社会的関心が高く、奉仕活動に熱心で、尊敬せずにおられません。

さて、教会の隣がお蕎麦屋さんでした。なんといっても信州は蕎麦。山爺は「ズルズルズル、パツ」と豪快な音を立てて、蕎麦を召し上がります。お腹も一杯になって、富士見パノラマリゾートで開催中の星野富弘「花の詩画展」に立ち寄りしました。星野氏の詩画には、草花を愛でて、命の尊さを感じとり、花のようにさりげなく、人に寄り添い、共に生きようとする思いを感じさせられます。沢山の画集や絵葉書が販売されています。とても人気があるようです。もちろん、私も大好きです。



目的地に着く前に、東山魁夷の「緑響く」(左)で有名になった御射鹿池(みしゃかいけ・右)にも立ち寄り頂きました。農業用の小さな溜池ですが、酸性が強く、魚が生息できないため、透明度が高いそうです。緑の山をそのまま



映す静かな水面は絵のイメージを壊さない美しさがありました。山も水も空気も綺麗です。この清々しさを求めて、大勢の人々が車でやってくるのです。立派な駐車場が出来ていました。休日には渋滞が出来るほどとか…何か、申し訳ないような気持ちにもなってきます。